

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) I 地域用

2012.11.21 版

■「Q値計算書」(面積表・熱貫流率計算書)を添付して下さい。

フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

複数地域に同一断熱性能で応募する場合、I a・I b・II地域でまとめて1部、III～VI地域でまとめて1部でかまいません。

■「一次エネルギー計算書」(「住宅事業建築主の判断基準」のウェブサイト <http://ees.ibec.or.jp/> での計算結果)を添付して下さい。

複数地域で応募する場合、地域ごとに1部添付して下さい。

■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、原則として上記の「一次エネルギー計算書」の入力内容と整合させて下さい。

1. 地域区分(該当するものに✓を入れて下さい)

なお、同一の設備仕様の場合にはI a・I b両地域分を一括して記入できます。その場合は2か所に✓を入れて下さい。

☐ I a 地域

☐ I b 地域

2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。なお、用語の定義等については「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)のFAQや解説を参考にして下さい。

2-1 暖房設備

(1) 暖房設備の設置・運転方式について、該当するものに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ 住宅全体または全居室を連続的に暖房する →引き続き(2A)に記入して下さい

☐ 暖房設備は設置しない →2-3 換気設備に進んで下さい

(2A) 全体・全居室連続暖房に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ ヒートポンプ式セントラル空調システム →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：

製品型番：

暖房定格能力[W]：

暖房定格消費電力[W]：

☐ 温水暖房 →引き続き(2B)(2C)(2D)に記入して下さい。

☐ その他の暖房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙2に記載して下さい。

メーカー：

製品型番：

概要：

別紙 1

(2B) 温温水暖房の場合、LDK に用いる放熱器について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ 床暖房 → パネルのメーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
敷設率[%]：	上面放熱率[%]：

☐ パネルラジエーター → メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

(2C) 温温水暖房の熱源設備について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ コージェネレーション → 2-3 換気設備 に進んで下さい。

☐ 石油熱源機 → メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

☐ ガス熱源機（従来型） → メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

☐ ガス熱源機（潜熱回収型） → メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

☐ 電気ヒートポンプ式熱源機 → メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格能力[W]：	定格消費電力[W]：

(2D) 温温水暖房を用いる場合、配管の断熱について該当する方に✓を記入して下さい。

☐ 配管断熱あり

☐ 配管断熱なし

2-2 冷房設備

※ I 地域では、冷房設備の一次エネルギー消費は無視します。

2-3 換気設備

(1) 主要な換気設備および熱交換器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ ダクト式第 1 種換気設備 → (2) (3) に記入して下さい

☐ ダクト式第 1 種換気設備（熱交換あり） → (2) (3) に記入して下さい

☐ ダクト式第 2 種または第 3 種換気設備 → (2) (3) に記入して下さい

☐ 壁付け同時給排気型ファン → (2) に記入して下さい

☐ 壁付け同時給排気型ファン（熱交換あり） → (2) に記入して下さい

☐ 壁付け給気型ファンまたは壁付け排気型ファン → (2) に記入して下さい

(2) 採用するファンのメーカー・型番・消費電力、および熱交換器を採用する場合にはそのメーカー・型番を記入して下さい。

(ファン) メーカー：	製品型番：
消費電力[W]：	
(熱交換器) メーカー：	製品型番：

(3) ダクト式の換気設備の場合、DC モーター式のファンを採用するかどうか、該当する方に✓を記入して下さい。

☐ DC モーターを採用する

☐ DC モーターを採用しない

別紙 1**2-4 給湯設備**

(1) 給湯器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。また、いずれを選択した場合も(2)に記入して下さい。

☐ コージェネレーション

☐ ガス瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ ガス瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間貯湯式給湯器 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 電気温水器（CO₂ヒートポンプ式） →メーカー・製品型番およびAPF を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	APF：
-------	-------	------

☐ ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 設置しない

(2) 節水・節湯器具および太陽熱温水器等について、以下の器具等で標準採用するものがあれば✓を記入し(複数記入可)、採用する器具についてはメーカー・型番等を記入して下さい。

☐ 小口径配管

☐ 台所の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 台所の小流量吐水器具

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 浴室の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 浴室の小流量シャワーヘッド

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 太陽熱温水器

メーカー：	製品型番：
パネル有効集熱面積[m ²]:	

2-5 照明設備

(1A) LDK の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(2A)に進んで下さい
☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(1B)に記入して下さい

(1B) LDK に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
☐ 調光機能付き器具を採用する(採用する器具は1つ)
☐ 調光機能付き器具を採用する(採用する器具は2つ以上)

(2A) LDK 以外の居室の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(3A)に進んで下さい
☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(2B)に記入して下さい

(2B) LDK 以外の居室に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
☐ LDK 以外のすべての居室において、なんらかの調光機能付き器具を採用する

(3A) 非居室部分の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →2-6 太陽光発電設備に進んで下さい
☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(3B)に記入して下さい

(3B) 非居室部分に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
☐ 人感センサーまたは照度センサーを採用する(該当する器具は1つ)
☐ 人感センサーまたは照度センサーを採用する(該当する器具は2つ以上)

2-6 太陽光発電設備

(1) 太陽光発電設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 太陽光発電設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい
☐ 太陽光発電設備を標準では設置しない →2-7 コージェネレーションに進んで下さい

(2) 2 階建て・延べ面積 120m² 程度の住宅における標準的な太陽光発電設備のメーカー・型番・容量等を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
システム容量[kW]：	

2-7 コージェネレーション

(1) コージェネレーションについて、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

なお、コージェネレーションを採用する場合は 2-1 暖房設備の(2C)、および 2-4 給湯設備の(1)で「コージェネレーション」を選択して下さい。

- ☐ コージェネレーション設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい
☐ コージェネレーション設備を標準では設置しない →別紙1の記入は終了です

(2) 設置するコージェネレーション設備で該当するもの一つに✓を記入し、いずれの場合もメーカー・製品型番および総合効率を記入して下さい。

- ☐ ガスエンジンコージェネレーション
☐ 燃料電池コージェネレーション Type1
☐ 燃料電池コージェネレーション Type2
☐ 燃料電池コージェネレーション Type4

メーカー：	製品型番：
総合効率[%]：	